

## 役員紹介 日本真空工業会

5月15日に行われました第30回定時総会において、2014年度日本真空工業会の役員が承認され、その後に行われました第190回理事会で役付理事が承認されましたのでご紹介いたします。

## 会長

キャノンアネルバ株式会社  
代表取締役社長

酒井 純朗



## 副会長

株式会社荏原製作所  
取締役専務執行役員  
精密・電子事業カンパニープレジデント

辻村 学



## 副会長

株式会社アルバック  
代表取締役執行役員社長 小日向 久治



## 副会長

神港精機株式会社  
代表取締役社長

眞下 忠



## 専務理事

日本真空工業会

伊藤 隆生



## 常任理事

株式会社昭和真空  
代表取締役社長

小俣 邦正



## 常任理事

芝浦メカトロニクス株式会社  
相談役

南 健治



## 常任理事

株式会社島津製作所  
執行役員 産業機械事業部 事業部長

篠原 真



## 常任理事

住友重機械工業株式会社  
取締役常務執行役員  
技術本部長

富田 良幸



## 常任理事

佐藤真空株式会社  
常務取締役

佐藤 弘悦



## 理事・関西支部長

株式会社大阪真空機器製作所  
代表取締役社長

笠岡 一之



## 理事

日立造船株式会社  
代表取締役 取締役社長

谷所 敬



## 役員紹介 日本真空工業会

## 理事

株式会社シンクロン  
顧問

小成 弘



## 理事

日本電子株式会社  
代表取締役兼副社長執行役員 岩槻 正志

## 理事

エドワーズ株式会社  
代表取締役社長

松葉 直樹



## 理事

大亜真空株式会社  
代表取締役社長

横山 徹



## 理事

東京電子株式会社  
代表取締役社長

黒岩 雅英



## 理事

日本エリコンライボルト株式会社  
営業部／カスタマーサポート部  
取締役統括部長

渡邊 豊



## 理事

株式会社フジキン  
代表執行役社長兼COO

野島 新也



## 理事

一般社団法人 日本真空学会 副会長  
(大学共同利用機関法人高エネルギー加速器  
研究機構・教授 工学博士) 齊藤 芳男

## 監事

入江工研株式会社  
代表取締役社長

入江 則裕



## 監事

アルバックテクノ株式会社  
代表取締役社長

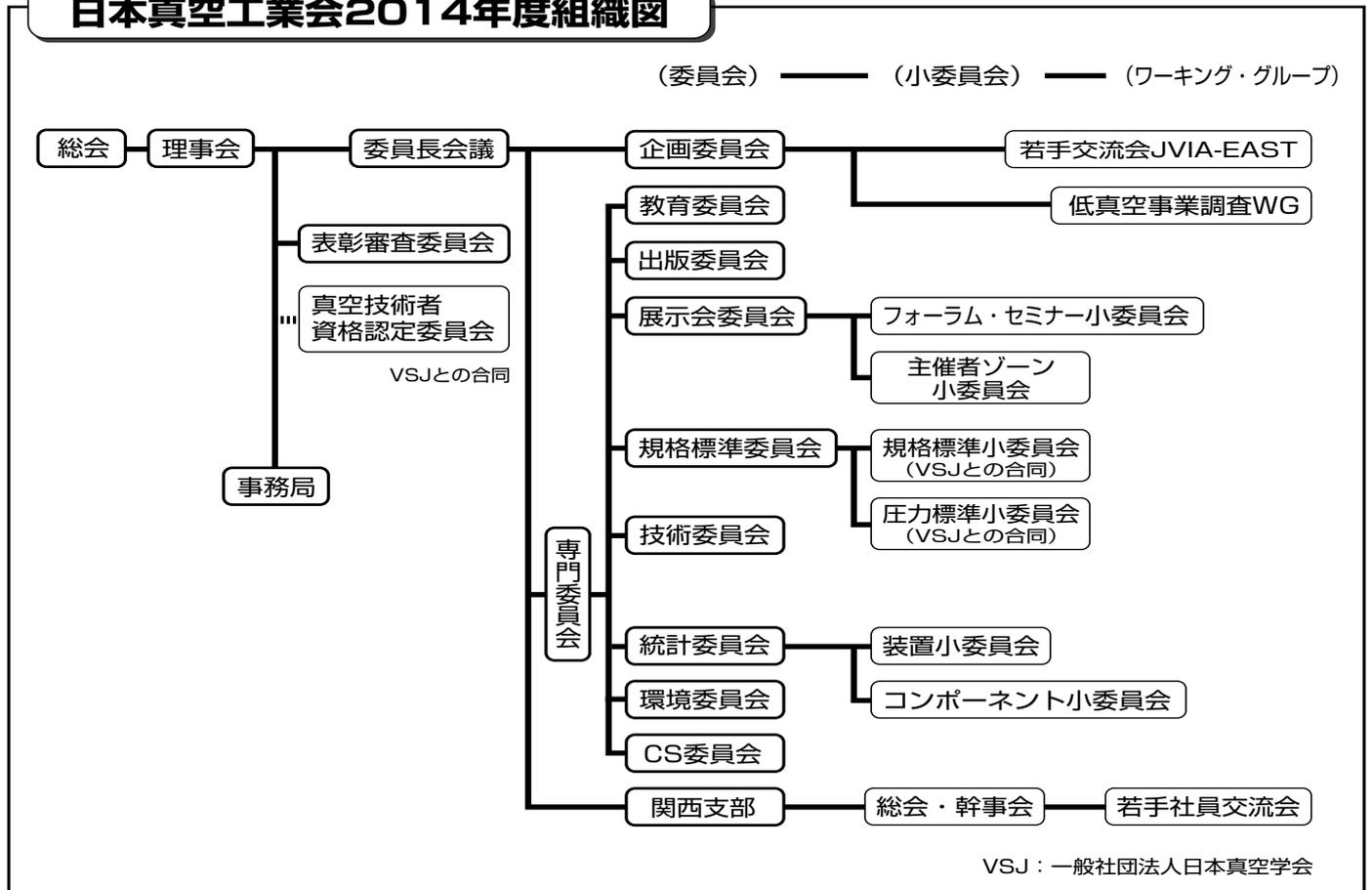
藤山 潤樹



お知らせ 日本真空工業会

2014年度日本真空工業会の組織と各委員会委員長は下記のとおりです。

日本真空工業会2014年度組織図



委員長名簿

| 委員会     | 委員長   | 会社名         |
|---------|-------|-------------|
| 企画委員会   | 有賀 芳樹 | キャノンアネルバ(株) |
| 教育委員会   | 南 展史  | (株)アルバック    |
| 出版委員会   | 岡本 鉄男 | 新明和工業(株)    |
| 展示会委員会  | 吉澤 秀樹 | (株)アルバック    |
| 規格標準委員会 | 芦田 修  | (株)島津製作所    |
| 技術委員会   | 青木 一俊 | キャノンアネルバ(株) |
| 統計委員会   | 庄司 俊行 | (株)荏原製作所    |
| 環境委員会   | 小泉 達則 | キャノンアネルバ(株) |
| CS委員会   |       |             |

| 小委員会・WG        | 委員長   | 会社名          |
|----------------|-------|--------------|
| フォーラム・セミナー小委員会 | 宮林 正博 | 住友重機械工業(株)   |
| 主催者ゾーン小委員会     | 中川 広貴 | (株)島津製作所     |
| 規格標準小委員会       | 芦田 修  | (株)島津製作所     |
| 圧力標準小委員会       | 高橋 直樹 | (株)アルバック     |
| 装置小委員会         | 稗田 豊  | 芝浦メカトロニクス(株) |
| コンポーネント小委員会    | 山本 久  | キャノンアネルバ(株)  |
| 若手交流会JVIA-EAST | 野村 竜樹 | アルバック販売(株)   |
| 低真空事業調査WG      | 高木 龍男 | 神港精機(株)      |

## お知らせ 日本真空工業会

## 新役員紹介

## 常任理事

住友重機械工業株式会社  
取締役 常務執行役員

富田 良幸



〒141-6025 東京都品川区大崎2-1-1  
ThinkPark Tower  
TEL: 050-2036-3307

## 新委員長紹介

## 企画委員長

キャノンアネルバ株式会社  
事業管理センター所長

有賀 芳樹



〒215-8550 神奈川県川崎市麻生区栗木2-5-1  
TEL: 044-980-5027 FAX: 044-986-4048

## 新入会員

4月

## 三愛プラント工業株式会社

所在地 : 〒143-0016 東京都大田区大森北1-5-1  
大森駅東口ビルディング

TEL : 03-5764-8155 FAX: 03-5764-8159

## かずさクリーンテック事業所

所在地 : 〒292-0818 千葉県木更津市かずさ鎌足1-7-3

TEL : 0438-52-3313 FAX: 0438-52-3314

代表者 : 代表取締役社長 谷内 晶直

会員代表者 : 技術開発センター長 石澤 克修

事業内容 : 真空部品(各種金属、樹脂、セラミック等)向け下  
記処理

- ・SMC(精密洗浄)
- ・サンチタン(チタン製品向け精密化学研磨)
- ・EP(電解研磨)
- ・RMC(精密再生洗浄)
- ・アルピカ(アルミ製品向け精密化学研磨)
- ・サスピカ(ステンレス製品向け精密化学研磨)

## 代表者・会員代表者変更

4月

## イハラサイエンス株式会社

前会員代表者 : 松川 繁雄

新会員代表者 : 取締役執行役員 営業統括室長 兼  
国内営業部長 岩本 純彦

〒108-0074 東京都港区高輪3-11-3 イハラ高輪ビル

TEL : 03-6721-6981

4月

## 住友重機械工業株式会社

前会員代表者 : 田中 利治

新会員代表者 : 取締役 常務執行役員 富田 良幸

〒141-6025 東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower

TEL : 050-2036-3307

4月

## 国立大学法人 山口大学

前会員代表者 : 堀 憲次

新会員代表者 : 大学院理工学研究科 研究科長 進士 正人

〒755-8611 山口県宇部市常盤台2-16-1

TEL : 0836-85-9620

6月

## 芝浦メカトロニクス株式会社

前代表者 : 南 健治

新代表者 : 代表取締役社長 森田 茂樹

〒247-8610 神奈川県横浜市栄区笠間2-5-1

TEL : 045-897-2421

6月

## 新明和工業株式会社

前会員代表者 : 真部 孝之

新会員代表者 : 産機システム事業部 次長 中川 佳治

〒665-0052 兵庫県宝塚市新明和町1-1

TEL : 0798-52-1234

7月

## 芝浦エレクトック株式会社

前代表者・前会員代表者 : 藤田 茂樹

新代表者・前会員代表者 : 代表取締役社長 藤田 真人

〒247-0006 神奈川県横浜市栄区笠間2-5-1

TEL : 045-896-0811

## 統計委員会

委員長 庄司 俊行 (株式会社荏原製作所)

### 1. 真空機器 2014年第1四半期受注・売上統計

#### 1) 受注状況

2014年第1四半期の全真空機器の受注高は、統計参加会社58社の集計で1,653億6千万円、前四半期比126%で343億2千万円増加した。前年同期比では155%で589億4千万円増加した。うち輸出が1,149億7千万円で、前四半期比148%で373億円増加した。前年同期比では201%で579億円増加した。

一方、国内は503億9千万円で、前四半期比94%で29億8千万円減少した。前年同期比では102%で10億3千万円増加した。

真空装置の受注高は1,300億6千万円で、前四半期比138%で355億6千万円増加した。うち輸出は1,069億8千万円で前四半期比155%、380億5千万円増加した。国内は230億8千万円で前四半期比90%、24億9千万円減少した。前年同期比では、真空装置全体が171%で540億円増加、内訳は輸出が221%、国内は91%だった。

全コンポーネントの受注高は256億円で前四半期比91%、26億5千万円減少した。

受注額の内訳は、真空ポンプは141億2千万円で前四半期比90%、16億円減少、計測器は28億2千万円で前四半期比87%、4億3千万円減少、部品・材料は86億7千万円で前四半期比93%、6億1千万円減少した。全コンポーネントの輸出は69億9千万円で前四半期比90%、7億6千万円減少、国内は186億2千万円で前四半期比91%、18億8千万円減少した。前年同期比では116%で35億6千万円増加、内訳は、輸出が121%、国内が115%だった。

役務の受注高は97億円で前四半期比117%、14億円増加した。前年同期比では117%で13億8千万円増加した。

#### 2) 売上状況

2014年第1四半期の全真空機器の売上高は、1,407億円となり、前四半期比112%で146億3千万円増加した。前年同期比では140%で405億2千万円増加した。うち輸出が861億8千万円、前四半期比114%、108億5千万円増加した。前年同期比では170%で355億円増加した。輸出の地域別割合は、米国21.0%、欧州2.6%、台湾が31.3%、韓国16.0%、中国26.5%、その他の地

域が2.6%だった。

一方、国内は545億2千万円、前四半期比107%で37億9千万円増加した。前年同期比は110%で50億1千万円増加した。

真空装置の売上高は1,026億8千万円、前四半期比116%で140億7千万円増加した。うち輸出は782億3千万円で前四半期比118%、120億3千万円増加、国内売上高は244億4千万円で前四半期比109%、20億4千万円増加した。前年同期比では153%で354億9千万円増加、内訳は、輸出が174%、国内が110%だった。

全コンポーネントの売上高は282億円、前四半期比100%、4千万円減少した。売上額の内訳は、真空ポンプは151億8千万円で前四半期比94%、8億9千万円減少、計測器は30億8千万円で前四半期比104%、1億2千万円増加、部品・材料は99億3千万円で前四半期比108%、7億2千万円増加した。

全コンポーネントの輸出は72億4千万円で前四半期比88%、9億7千万円減少した。国内は209億6千万円で前四半期比105%、9億2千万円増加した。前年同期比では120%で46億1千万円増加、内訳は、輸出は151%、国内は112%だった。

役務の売上高は98億2千万円で、前四半期比107%で6億1千万円増加した。前年同期比では104%で4億1千万円増加した。

### 2. 真空機器 2013年度の受注・売上統計 (会計年度)

#### 1) 2013年度受注高 (会計年度)

2013年全真空機器の受注高は5,281億円で前年比141%、1,549億円増加した。うち輸出は3,233億円で前年比162%、国内は2,048億円で前年比118%となり、特に輸出物件の受注が大幅に回復した。内訳では前年比で真空装置は151%、全コンポーネントは125%、役務106%でいずれも増加した。2013年の全真空機器受注高は、ピークだった2006年と比べると65%だった。

#### 2) 2013年度売上高 (会計年度)

2013年全真空機器の売上高は4,979億円で前年比115%、457億円増加となった。うち輸出は2,950億円で前年比112%、国内は2,030億円で前年比119%とどちらも増加した。内訳では前年比で真空装置は115%、全コンポーネントは122%といずれも増加した。役務98%でわずかに減少した。2013年の全真空機器売上高は、ピークだった2007年比では64%だった。

各委員会の詳細はHP (会員専用ページ) を参照ください。 (<http://www.jvia.gr.jp>)

図1 真空機器四半期毎の受注額

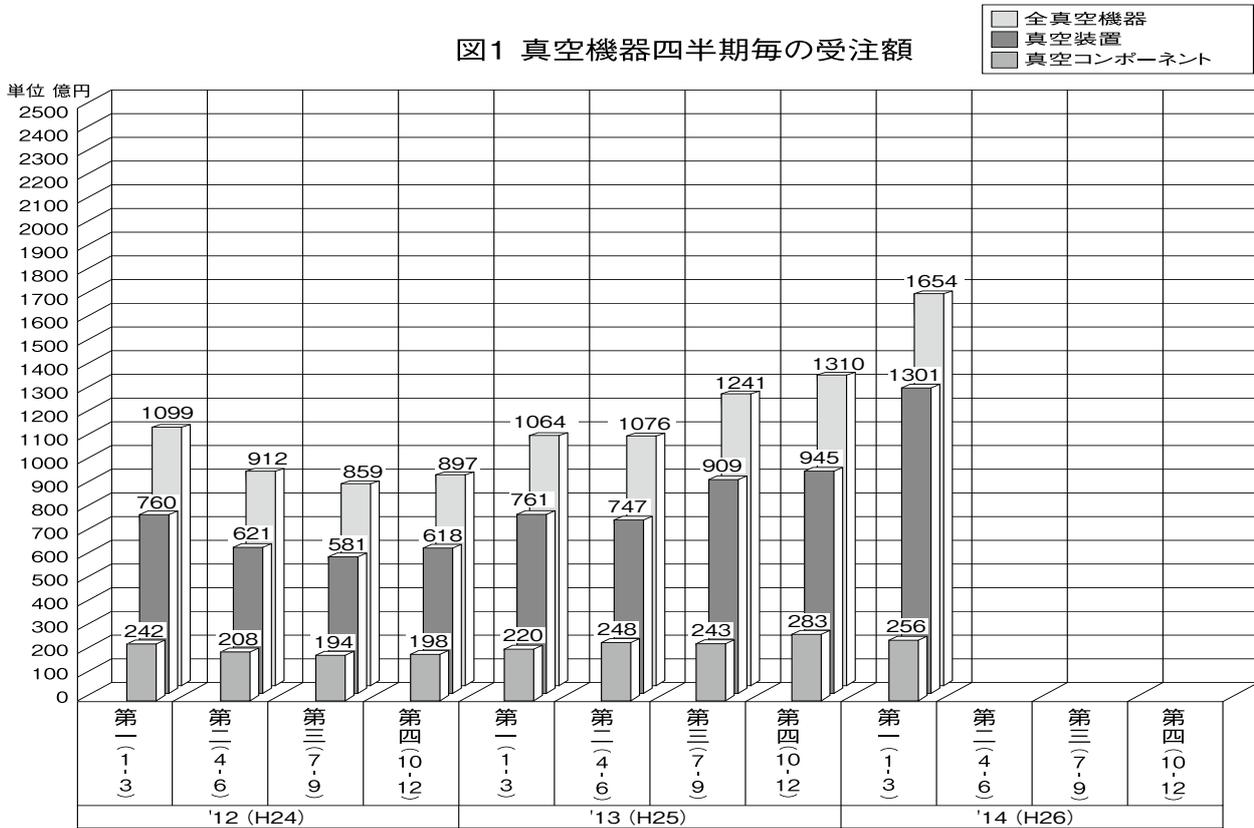


図2 真空機器四半期毎の売上高

